

海の楽好(がっこう)通信 Vol.3

2016年11月15日発行

海の楽好を開催しました。

海の楽好とは、海の豊かさ楽しさを、体験を通じて感じ、地域のきずなを深めながら、子ども達の笑顔を海で繋げていくものです。詳しくはHP・動画をご覧ください。

☆海の楽好サイト <http://uminogakkou.org/>

☆海の楽好PR動画 <https://youtu.be/rVjNdxDzNi4>

これまでの活動をご紹介します。

1. 子どもおさかな教室

海のワークショップでは海の役割を知り地元の海産物の学習などを行った後、地元海産物を使った料理教室も行いみんなで海を見ながら海の恵みをいただきました。

8月から10月までに4回開催し112名の参加がありました。

6月から累計で9回264名もの参加をいただきました。



8月21日は予定していたサメやシイラがトリプル台風の影響で入荷せず、唯一入荷していた鯖(サワラ)を使用したおさかな餃子づくり、アラを使用した吸い物、産卵前のサワラだったのでお刺身をつくりました。1メートル弱の大きなおさかなに子ども達もびっくりです、三枚おろしに苦戦しましたが、その身で餃子のタネづくりも行いました、お吸い物もだしが出て美味、普段おさかなの汁物は食べないという子たちもお代わり、お刺身も産卵前で油がのっておいペロリとたいらげました。大きい歯のするといおさかな、サワラにもびっくりしていました。

餃子はつなぎに海老を使用、焼きと揚げで食し皆おいしいい〜〜と笑顔に！

海からの恵みを楽しく味わいました！！

一日を通して海に関わることへの楽しさを満喫したようです！！

2. うみ・はま環境楽好

船の上から海を観察し釣りをしたりしながら海の役割と関わりを学んだあと海への感謝をこめて浜辺などの清掃をおこないました。8月から10月までに4回開催し195名の参加がありました。

6月から累計で9回555名もの参加をいただきました。



8月は震災後初のフレオープンを無事終了した菫蒲田海水浴場を中心に清掃活動を行いました。タバコの吸い殻、ペットボトル、空き缶、花火など多く見られましたが子ども達は地元の方々と楽しくお話ししながら活動を行いました。

10月は風が強く寒かったのですが、子ども達は元気いっぱい、事前学習でプラスチックなどのゴミが海に与える影響、海をきれいにすることはおさかな等の海の生き物にとって大切なことであるということをお話していたためか、「さかなさんの為がんばる！」と。

あつというまに袋は満杯、地中深く埋まったプラスチックも掘り出してくれたり、きれいな貝殻を集める子もいました

3. 海を知るアクア移動教室

幼稚園・保育所・小学校・放課後学童施設の子どもの元へ絵本バスで伺いました。海に関する絵本を自由に読んだり、海の生き物のクレイアートや貝殻などの海の素材を使った写真立てなどを作りました。

8月から10月までに16回開催し1320名の参加がありました。

6月から累計で25回2064名もの参加をいただきました。

12月までお招きいただいている施設さん等へ訪問いたします。



※今後も絵本バスでの訪問は継続してまいりますのでお気軽にお問い合わせください。

[問い合わせ email:chikyunogakkou_nippon@yahoo.co.jp]

4. アクア・キッズリーダー研修会

これまで全4回開催し38名の参加がありました。

子ども達の自立と自主性を育み、海の生業、を学ぶとともに、地域の海産物などの食育スクールとしても開催しました。参加者は小学生中心で海に興味がある子だけではなく今まで海と関わることがなかった参加者も多く海の知識を得るとともに親しみを感じられるようになり、これからの「アクア・キッズリーダー」として活躍して欲しいと思います。



石巻会場と七ヶ浜会場では漁師の方、ノリの養殖をしている方たちから海の歴史や海と人とのかかわり、海洋汚染にまで多岐にわたりお話をいただきました。

各グループに分かれてのディスカッションでは自分たちにできること、これからやっていきたいことなどをまとめ、みんなで意見を交換しました。

女川会場では実際に外に出での講習となりました。



女川町の河口に行き、鮭が遡上してくる様子を見学し、鮭の生態を学びました。ほとんどの子どもが初めて目にする光景だったようで、とても興味深く話を聞いていました。その後、女川交流館に移動し、三陸にいる魚や海の様子など映像を交えて学習。学習終了後、秋刀魚で昆布巻きをつくる体験と、海鮮丼を自分でつくる体験をしました。秋刀魚を包丁でさばく経験は、これも全員が初めての経験のようで、とても楽しそうでした。海鮮丼は、半数の子どもが魚は嫌いだと答えていましたが、実際にその魚がどこから来た魚なのか、またその生態なども聞かされると、食べてみようという好奇心が生まれたようで、みんなとても美味しい！と話していました。中には、イクラは嫌いだと言っていた子も、綺麗に完食するなど、この子ども達にとっては、とても良い経験になったようでした。



これらのプログラムを通じ、子ども達ひとりひとりが、海、自然に対する知識を深めることで、自然の豊かさと海の役割を学び海とのつながりをより深く感じていただけたらと思います。実施に当たり地域の方々、行政、海に関わる皆様のご理解ご協力を心より感謝申し上げます。今後とも弊会の子ども達の健全育成に係る事業へのご協力をよろしくお願いたします。

発行：特定非営利活動法人地球の楽好（ちきゅうのがっこう）

宮城県多賀城市大代 3-6-35

TEL:022-389-0931 FAX:022-389-0932

Email:chikyunogakkou_nippon@yahoo.co.jp 海の楽好サイト <http://uminogakkou.org/>

※本事業は「公益財団法人日本財団助成事業海と日本プロジェクト」の一環として実施いたしています。